
2023年度の広報活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

公益社団法人リース事業協会(以下、「協会」という。)の広報調査委員会では、リース事業に関する理解促進を図るための広報活動を行っています。

昨今、サステナビリティに関する対応が求められていることもあり、2023年4月に協会ホームページ上に「サステナビリティへの取り組み」に関する特設ページを開設しました。

また、経済界におけるリースに関する認知度が一定程度まで浸透してきたこともあり、過去3年間の広報活動では、主に大学生を対象としたワークショップを開催し、若年層への理解促進に力をいれてきました。

2023年度は、わが国において初めて「リースを網羅的に学ぶ場」を設けるために、早稲田大学商学部寄附講座を開講しました。

本稿では、協会ホームページ内に新たに開設した「サステナビリティへの取り組み」に関するご案内および、早稲田大学商学部寄附講座の概要について報告いたします。

1. 「サステナビリティへの取り組み」特設ページの開設

温暖化などの環境に関する問題、人権、限りある資源の有効利用のための資源循環への取り組みの必要性など、近年、急速にサステナビリティに関する取り組みが求められています。

リース業界でもすでに各社において様々な取り組みが進められています。

協会では、リース業界におけるサステナビリティへの取り組みを整理・公表する場を設けるべく、サステナビリティの視点から、改めてリース業界の歴史を考察するとともに、リース業界が成長してきた過程を振り返り、ホームページ上において公表することとし、2023年4月25日に協会のホームページ内に特設ページを開設しました。

この特設ページは、学生から様々なステークホルダーまで、どなたに対してもリース業界における取り組みが伝わるよう、わかりやすい言葉で簡潔に表現することを目的として作られました。

特設ページ「サステナビリティへの取り組み」では、以下の6つの項目でリース業界とサステナビリティへの関係を整理しています。

- ①リースとサステナビリティ
- ②リースと資源循環
- ③リースと官公庁
- ④リースと企業
- ⑤各リース会社の取組
- ⑥リース事業協会の取組

特に、「⑤各リース会社の取組」では、当協会の正会員における取組事例の一覧(1社につき5事例まで)をPDFファイルとエクセルファイルで掲載していますので、リース会社名・取組のカテゴリー(環境・社会・経済・その他)・地域等で検索・ソートをする

ことができます。

当協会正会員の取組事例調査は、今後も年に1回実施し、取りまとめ結果を8月にホームページ上に公開します。

*「サステナビリティへの取り組み」特設ページ
(<https://www.leasing.or.jp/sustainability/>)

2. 早稲田大学商学部寄附講座開講の経緯

協会では、近年、特に若年層を対象としたリース事業に関する理解促進を図っています。

2019年度から2022年度までは、参加対象学生を就職活動がまだ始まっていない大学1年生から2年生をメインとしたワークショップを年1回から2回程度、対面やWebで開催していました。

大学生を対象とすることの意義は、早くからリース事業について知っていただくことで、就職活動の際にリース業界も選択肢のひとつとして考えていただくことや、社会人となった際に、企業における設備投資導入の手段として「リース」も選択肢のひとつとして入れていただくこと、起業の際に、リースを有効に利用していただきたいことを目的としています。

今年度、寄附講座を開講した理由は、リー



スに関する幅広い事項を網羅的且つ継続的に集中して学んでいただく機会を設けたかったことがあげられます。

そこで、協会として大学で学びの場を設けることが出来るのかを、協会の「先端設備等のオペレーティング・リース取引に関する研究会」で主査をお務めいただき、たびたびアドバイスをいただくなど、以前からお世話になっている早稲田大学商学大学院大学院会計研究科 秋葉賢一教授に相談したところ、商学部で多くの寄附講座が開講されていることをご教授いただき、担当者の方へおつなぎいただきました。その後、商学部事務局と講義内容等について意見交換し、学内審査および準備期間を経て秋期に開講しました。

3. 寄附講座概要

全14回の講義のうち、第1回では講義全体に関するガイダンスとリース概論の講義を行い、今後の講義内容を紹介しました。

第2回・3回ではリース入門として、リースに関する基本的な用語・知識・情報をお伝えしました。

多くの講義では、全100分の講義時間を2コマに分け、各界の専門家・リース業界を取り巻くステークホルダーおよびリース会社の専門職員を講師にお招きして、様々な角度からリースに関する講義をしていただき、第13回では、協会会長の橘正喜氏（三井住友ファイナンス&リース(株)社長）にもご登壇いただきました。

1回の講義を2コマに分け、各界から多彩な講師陣にご登壇いただいたことで、受講生も集中力を維持しながら、興味深く受講することができたと考えています。

また、第10回では受講生に主体的に参加していただくことを目的として、ワークショップ形式での講義を設けました。

2023年度 秋期 早稲田大学商学部寄附講座概要

科目名	公益社団法人リース事業協会寄附講座 サステナブルな社会を創るリース
担当教員	新井 剛 教授
学期等	秋期（2023年10月10日～2024年1月23日） 火曜日3限 13:10～14:50（100分授業）計14回
講義形式	対面による講義
配当年次	1年生以上（オープン科目：他学部の学生も受講可能）
平均出席者数	96.6名

履修登録者数合計：131名	学 年	
	1年生：9名（6.9%）	3年生：64名（48.9%）
	2年生：27名（20.6%）	4年生以上：31名（23.7%）
	学 部	
	商学部：84名（64.1%）	文化構想学部：4名（3.1%）
	政治経済学部：10名（7.6%）	スポーツ科学部：3名（2.3%）
	社会科学部：10名（7.6%）	国際教養学部：2名（1.5%）
	教育学部：9名（6.9%）	人間科学部：2名（1.5%）
法学部：6名（4.6%）	文学部：1名（0.8%）	

ワークショップの構成は下記2部構成で実施しました。

①リース会社社員へのインタビュー

リース業界・リース会社の魅力（仕事、やりがい、職場、会社としての働きやすさ）について、リース会社4社の担当者から説明したほか、実際に一日をどのようなスケジュールで働いているかをご紹介します。

②グループワーク

受講者をランダムに15チームに分け、「リース業界またはリース会社の魅力をSNSで発信する」をテーマとするグループワークを実施し、その成果として、グループ毎にツイート文（140文字以内）を作成し、発表いただきました。就活生をターゲットとし、リース（会社）の魅力伝える趣旨の作品が多くありま

した。

140文字以内という限られた文字数の中でいかに対象者に訴求していくか、各グループの間で積極的に議論し、様々な工夫がされたツイート文が作成されました。

本講座は2単位を取得することが出来る講座で、成績評価は、平常点については各回3点（第13回のみ4点、第14回はカウントしない）とし、授業回数の2/3以上の出席が必要ですが、第1回と第2回の授業は無条件で出席扱いとなります。

成績評価については、「課題レポート」の提出も必要となります。

①テーマ：「新しいリースの形」

②内容：新しいリースの形やサービスを考え、そのターゲットおよびサービスの仕組みを解説し、そのサービスに関するマーケットの規模（現状と将来予測）、

回数	テーマ	講師（敬称略）
1	講義ガイダンス	商学部 新井剛 教授
	リース概論	公益社団法人リース事業協会 事務局長 加藤建治
2	リース入門①	公益社団法人リース事業協会 事務局長 加藤建治
3	リース入門②	公益社団法人リース事業協会 事務局長 加藤建治
4	リース会社の実務① 自動車リース	自動車リース委員会委員長 三菱HCキャピタル㈱ モビリティ事業部部长 南部聡
	航空機リース	三井住友ファイナンス&リース㈱ 専務執行役員 渡部信一郎
5	リース会社の実務② 国際リース	国際委員会委員長 みずほリース㈱ 理事国際業務管理部長 坂本光浩
	リース会社の再生可能エネルギービジネス	オリックス㈱ 電力事業部中部チーム 赤嶺隼人
6	企業から見たリースの活用例	WOTA㈱ 代表取締役CEO 前田瑠介
		㈱リコー ESG戦略部ESGセンター所長 阿部哲嗣 リコーリース㈱ 経営企画部経営管理室長 河下一平
7	地方自治体から見たリースの活用例	静岡県教育委員会 教育施設課 課長 山川和成 技監 横田恭子
		川口市 理財部管財課庁舎車両係長 永友聡弘 理財部契約課課長補佐兼物品契約長 佐野陽也 経済部経営支援課課長補佐兼雇用支援係長 中田泉
8	リースと会計・税制・法務 リース会計・税制の基礎	会計税制委員会委員長 東京センチュリー㈱ 取締役常務執行役員経営企画部門長（兼）経理部門長 平崎達也
	リース会社の法務	法制委員会 芙蓉総合リース㈱ グループ法務コンプライアンス部長 綾野理佳
9	リースと環境 リースと環境	環境委員会委員長 三井住友ファイナンス&リース㈱ リソース企画部長 松村賀央
	リースに関する環境法入門	佐藤泉法律事務所 弁護士 佐藤泉
10	ワークショップ	広報調査委員会委員会社 ・JA三井リース㈱ 総合企画本部経営管理部広報IR室 八鍼結衣 ・NTT・TCリース㈱ 営業推進部営業企画部門 井土菜々子 ・㈱SBI新生銀行 グループ人事部【前職 昭和リース㈱】東日本営業部門 東京営業第一部主任 齋藤昌太 ・東銀リース㈱ 人事部部长代理 寺本哲朗 ・司会：公益社団法人リース事業協会 企画部課長 廣澤且巳
	課題レポート説明	公益社団法人リース事業協会 事務局長 加藤建治
11	産業政策とリース	経済産業省 消費経済企画室長 松隈健一
	地球環境問題とリース	元 環境省地球環境審議官 近藤智洋
12	座談会	広報調査委員会 正副委員長 ・JA三井リース㈱ 総合企画本部経営管理部経営管理部長 星野耕一 ・東京センチュリー㈱ 広報IR部長 河井健吾 ・芙蓉総合リース㈱ 経営企画部コーポレートコミュニケーション室長 山崎竜也 ・みずほリース㈱ コーポレートコミュニケーション部長 武知子 ・三井住友ファイナンス&リース㈱ 広報IR部長 澤口保津美 ・司会：公益社団法人リース事業協会 事務局長 加藤建治
	協会の社会貢献活動紹介	公益社団法人リース事業協会 企画部課長 廣澤且巳
13	リース産業の将来展望	公益社団法人リース事業協会 会長 三井住友ファイナンス&リース㈱ 代表取締役社長 橋正喜
14	課題レポート表彰 受賞者プレゼンテーション 総評 講義の振り返り	・商学部 新井剛 教授 ・広報調査委員会委員長 JA三井リース㈱ 総合企画本部経営管理部経営 管理部長 星野耕一 ・公益社団法人リース事業協会 事務局長 加藤建治

当該マーケットにリースを普及させるためのポイント等をわかりやすく簡潔に考察する。

③字数：1,000字以上（A4 2枚程度・図表使用可）

④締め切り：2024年1月8日（月）

課題レポートは、合計110レポートが提出されました。

公平性を担保するために、課題レポートには受講者の個人情報が含まれない、ナンバリングされたレポートを早稲田大学商学部事務局からご提供いただき、評価を行いました。

レポートの評価方法は、リース事業協会・広報調査委員会の正副委員長5名およびリース事業協会事務局により評価を行い、新井教授へ提案し、受賞者を決定しました。

評価は下記の項目で行われました。

- ①独創性
- ②実現性
- ③経済効果
- ④社会課題に対する効果
- ⑤サプライチェーンとの協働性 等

*2023年度秋期早稲田大学寄附講座に関する情報は当協会ホームページの「早稲田大学寄附講座」へ掲載しています。
(<https://www.leasing.or.jp/workshop/index.html>)

おわりに

協会として初めて大学で寄附講座を開講するにあたり、最近の大学の状況や学生の考え方など、わからないことが多い中での準備・開講となりましたが、開講当初から、講義後レポートに記載されている感想・質問のレベルが高く、当初想定していた以上に得るものが大きい結果となりました。

受講者の学びに対する真摯な姿勢は、講義

の準備をする協会スタッフだけでなく、講義を担当いただいたリース会社あるいは外部講師の方に新鮮な驚きとともに、同じ時間をともに学べたことへの満足感を与えてくれました。

若い方の柔軟で豊かな発想力と対応力は、講義後レポートでの感想や質問で、ワークショップでのグループワークやSNS作品という形で、あるいは課題レポートの中で、いかに発揮され、全14回の講義を通して、新しい世代の力強さを感じさせてもらいました。

履修学生の将来に、この講座での学びがお役に立てることを願っています。

最後となりましたが、新井教授によるご指導および早稲田大学商学部事務局スタッフの方々によるサポートにより全講義を円滑に進めることができましたことへ、御礼申し上げます。

あわせて、講師をご担当いただいた各界の専門家・企業および官公庁・関係者の皆様・リース会社関係者の皆様、お忙しい中、より良い講義とするためにご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。

広報調査委員会では、本寄附講座が受講生に対し、リースに関する理解促進効果があったと評価し、来年度も寄附講座を開講する予定です。

関係各位におかれましては、引き続きご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

早稲田大学商学部寄附講座におけるワークショップのアウトプット作品（SNSへのツイート文）および課題レポート「新しいリースの形」に関する受賞者とテーマ・概要、受講者の感想、リース会社講師の感想は、本稿の最後に【参考資料】としてご紹介しています。

【参考情報】 広報調査委員会委員会社

JA三井リース(株)、東京センチュリー(株)、芙蓉総合リース(株)、みずほリース(株)、三井住友ファイナンス&リース(株)
NECキャピタルソリューション(株)、NTT・TCリース(株)、オリックス(株)、昭和リース(株)、東銀リース(株)
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)、三菱HCキャピタル(株)、リコーリース(株)、リそなリース(株)
以上14社

【参考資料】

第10回ワークショップ SNSへのツイート文（一部抜粋）

ツイート

☆悩める就活生へ リース業界をオススメします☆

- ☑ 相手先、扱う物件の範囲が無限
- ☑ ファイナンスを通した社会課題の解決
- ☑ 対法人で規模の大きいビジネスに関わりやりがいを感じやすい！
- ☑ ワークライフバランスが取りやすい環境
- ☑ 土日・祝日休み × 飛び込み営業なし 圧倒的ホワイト企業！

ツイート

リース会社の魅力はズバリ「様々な業種と関われる、働きやすい仕事」であるということ！営業と聞くと大変なイメージがあるけれど、自分の興味のある企業や業種に対して営業することもでき、土日祝日や深夜の業務は少なく、多様化する働き方に対応している企業もあるよ！
#就活 #ホワイト企業

こだわりポイント

パッと見てわかりやすい

こだわりポイント

ターゲットを就活生にし、学生の目に入るようにハッシュタグを付けた。ハッシュタグは就活生が調べそうな単語にした。「リース」は学生には分かりにくいことだと考えたので、その働きやすさを全面的に出した

ツイート

- リース会社の魅力6選！
- ・扱う商談が多様！
 - ・福利厚生が充実！
 - ・ワークライフバランスがとれる！
 - ・社会貢献が実感できる！
 - ・グローバルな環境で働ける！
 - ・教育制度が充実！

ツイート

リースのお仕事知っていますか？
リースとは“モノ×ファイナンスの事業！”
その魅力は
①サステナブルな社会を目指すお仕事！
②幅広く多様な業種と関わることができる！
③ワークライフバランスが保てる！
私たちと一緒に働きましょう

こだわりポイント

長文だと読みにくいので短文でまとめました
見やすさを重視しました

こだわりポイント

- ・わかりやすさ
→限られた文字数&若者向けなので、端的に伝える
- ・事業内容だけでなく、働き方の魅力も伝える

課題レポート：受賞者およびレポート概要一覧

	氏名	学部	学年	レポート概要
最優秀賞	阿部 彩花	商学部	2	【日本のタクシー不足をリースで解決する】 タクシーのドライバー不足と都市の通勤・通学や過疎地域の交通問題といった社会課題に対し、自動運転車のオペレーティング・リースによる解決策を提案し、中古市場も考察されている。
優秀賞	高橋 美帆	法学部	3	【国全体の防災レベルを高める「防災リース」】 防災の観点で、リース会社の特性、地方自治体の課題とリース活用のメリットが考察され、リース会社の役割と期待が具体的に示されている。
優秀賞	亀山 翔磨	商学部	3	【電気自動車のバッテリー専門リースサービス】 電気自動車のリースの課題を考察した上で、新たな着眼点として、バッテリーのリース事業が示され、バッテリーの中古活用も考察されている。
佳作	澤原 正	商学部	4	【稲作国家を支えるリース】 稲作農業の従事者減少や高齢化といった社会課題の解決策として、スマート農業機器のリースによる普及ポイントが考察されている。
佳作	畠山 公志	商学部	4	【最新火力発電設備のリース】 脱炭素の最新テクノロジー（CO ₂ 回収技術、水素発電）による火力発電設備のリースによる普及策が示され、設備の再利用や将来の市場規模も考察されている。
佳作	宮脇 美玖	商学部	4	【通常時にも緊急時にも役立つ「ドローン機体」のリースサービス】 ドローンの平時（SNSを組み合わせた地域活性化の情報発信）と有事（被災状況の迅速な把握）の活用策が示され、リースとサービスを組み合わせた普及ポイントが考察されている。
佳作	中根 有香	商学部	3	【高齢者の移動手段の拡張を実現する新しいリースの形】 高齢者の移動手段の問題に着目し、リースによる解決策が示され、そのターゲットを高齢者集合住宅とするアイデア、マーケット規模が考察されている。
佳作	森木 悠太	政治経済学部	4	【空き家と事業承継】 社会課題である空き家問題と事業承継問題を組み合わせて考察した上で、リースを活用した解決策が示されている。

受講者の感想（一部抜粋）

出典：「学生授業アンケート」早稲田大学商学部事務局

- 多くの幅広い分野の方が講師としてご登壇されたことにより学びが深まった。
- 各方面から講師を招いていただいて、直接お話を聞くことにより、現場の熱量を感じ取ることができた。
- 企業の方のお話を聞ける機会は中々ないし、直接お話を聞くことで伝わるものもあったと思う。
- リース業界で活躍されている多くの方の講演を聞けるだけでなく、リースを活用している企業・公共機関の方の視点からのお話も聞けることで、多方面からリース業についての理解を深められた点が有意義だった。
- 就活をするにあたり自分では全く認識していなかった業界だったため認識の幅も広がった。また、環境とビジネスの関連を気にするタイミングにもなった。
- 基礎から発展的な内容まで、リースビジネスに関する知見の幅が一気に広がった。特に、様々なバックグラウンドをお持ちの実務家の方のお話を直接聞くことができる機会はあまりないので、他の座学の授業と違い、楽しんで学ぶことが出来た。
- リースという縁の下の力持ちの業界に対する理解と、サステナビリティという喫緊の課題を包括的に考えることが出来た。
- 授業の最終回でレポートの講評が行われ、優秀な学生のレポートを見ることで、学びを得ることが出来たし、自分では思いつかなかったアイデアの詳細を知ることができて、新たな視点で考えられるようになった。
- 本講義では新規性の高いビジネスについての講義であったため、自ずと教養が深まっていくことが多かった。毎回違う方が登壇されて様々なお話をされるので、聞き手としても興味を持ち続けることが出来た。
- 実業家の社会人たちがとても親切で、私たちの質問に対して丁寧にわかりやすく答えていただいた。0からリース業界に関する内容と、これからの展望を学べてとても有意義な授業だった。
- そもそもリース業界への理解が漠然としたものだったので、この授業を通じて、リース業界がどうビジネスをしているか、他のビジネスモデルとはどう違うのかを明確に理解できることが最も有意義な点である。
- リースというあまり馴染みのない産業のことを1から知れた。最初は「リースとは何か」のような基礎から始まり、回を重ねるにつれて「実際の事例」やチームでの作業、座談会などを行ってくださったのでより深く理解できた。また、「サステナブルな社会を創るリース」という題名の通り、現在の課題に沿ったテーマで話してくださったことがとても有意義だった。
- 就活中の3年生は勿論、下級生も就活が始まる前に業界理解が深まるのが受講メリットだと思う。
- 座談会形式やグループワーク、課題優秀者の表彰など講義内容にもバリエーションがあり、学生が主体的に参加できる環境がある。
- リースという産業に特化していることは珍しいので、サステナブルという今後必須の概念と組み合わせることで学ぶことが出来、産業だけでなく社会課題について考えるきっかけになった。
- これまで理解していなかったリースという業態から、現在日本や世界が抱える持続可能社会への課題を理解し、その解決策を様々な方法とともに学ぶことが出来た。
- もう少し学生同士のディスカッションなどの機会があったら面白いと思う。
- グループワーク等がより多くあると理解をさらに深めることが出来ると感じた。

リース会社講師の感想（一部抜粋）

- 受講態度もまじめで、受けた質問も非常に的を射た内容であった。リースの仕組みやビジネスについて理解しようとする態度が見られ感心した。
- 質問内容はよく講義を聞いた上での質問で、講義内容の理解度合の高さ、更には各人の問題意識の高さを感じた。
- 過去10年間に複数の大学で講義をしてきたが、学生の質問レベルは格段に上がって来ている印象。
- 講義内容はややマニアックだったかと思うが、リースに関連してあえてこれだけマニアックなことも業務としてやっていると伝えられてよかったと考える。
- 想像以上に熱心に取り組んでいる姿勢が伺え、質問内容も独自の視点で新鮮な内容であった。本寄附講座を継続するのであれば、学生目線で興味のあるテーマ等の比率を高めても良いのかもしれないと感じた。
- 私自身、非常に刺激と反省を得られる有意義な時間だった。
- 知名度の低いリース産業をこうした形で紹介することは非常に有意義な取り組み。本件カリキュラムを通じて、学生がリースに興味を持って頂けたなら嬉しく思う。

（ワークショップ）

- ランダムに組んだグループの中で、皆さんよく意見をだして、よくまとめていて、授業への参加意欲やリースへの理解度を伺うことができた。
- これまでの講義内容（リース取扱物件・サステナへの貢献等）を踏まえたディスカッションをされており、アウトプットも出来ていて素晴らしいと感じた。
- 「そもそもなぜリース会社は働きやすいのか？」といった質問が出る等、課題に対して真摯に取り組む姿勢が感じられた。リースへの理解度も学生段階としては十分あるように感じた。
- 学生からの意見や質問、グループワークで作成された作品を拝見し、フレッシュな視点でこちらがとても勉強になった。
- 関心を持ちながら自身で考えながら講義を聞いている様子が窺えた。また、周囲と積極的にコミュニケーションを取りながら課題に取り組む様子に素直に関心した。